



東北防衛局では、日米の相互理解を深める取組みとして、在日米軍関係者と地域の住民の方々がスポーツ、文化などを通じて交流を行う「日米交流事業」を開催しています。

令和6年2月10日（土）、三沢基地及び三沢市内に在住する日米の小学生及び保護者が親子でパラスポーツ体験を通じて交流を図る、日米交流パラスポーツ運動会 in Misawa2024 を開催しました。

日米の参加者約50名は、混合4チームに分かれ、「ボッチャ」と「車いすバスケットボール」のほか「車いすリレー」の3競技で勝敗を競いました。

「ボッチャ」はパラリンピックの正式種目であり、初めて体験する競技に参加者は一球ごと慎重に的を狙い、ボールを思い通りにコントロール出来たときは、ハイタッチで喜びを共有する場面もありました。

「車いすバスケットボール」と「車いすリレー」では、車いすの扱いに苦労しながらも、白熱した試合となりました。

参加者からは「最初は緊張したけど、あっという間に打ち解けて、とても楽しい時間が過ごせました。」「パラスポーツは交流にとっても良いと思いました。」などの感想が寄せられました。

東北防衛局は、在日米軍と地域住民の方々の相互理解の一助となるよう、今後も様々な形で活動してまいります。



【ボッチャ】



【車いすバスケットボール】



【車いすリレー】



【集合写真】